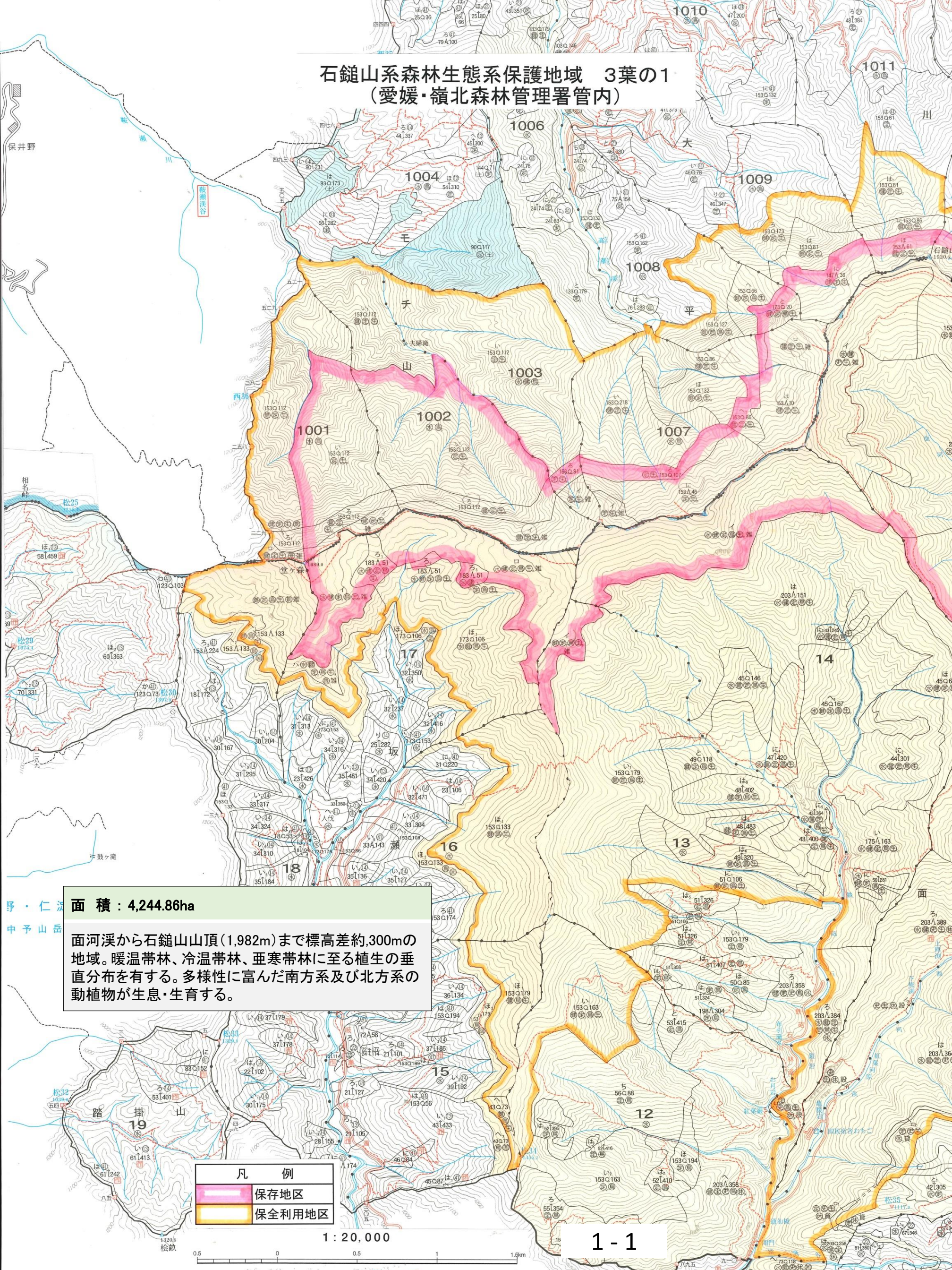


管内保護林の再編案 (個別表)

石鎚山系森林生態系保護地域 3葉の1
(愛媛・嶺北森林管理署管内)



面積 : 4,244.86ha

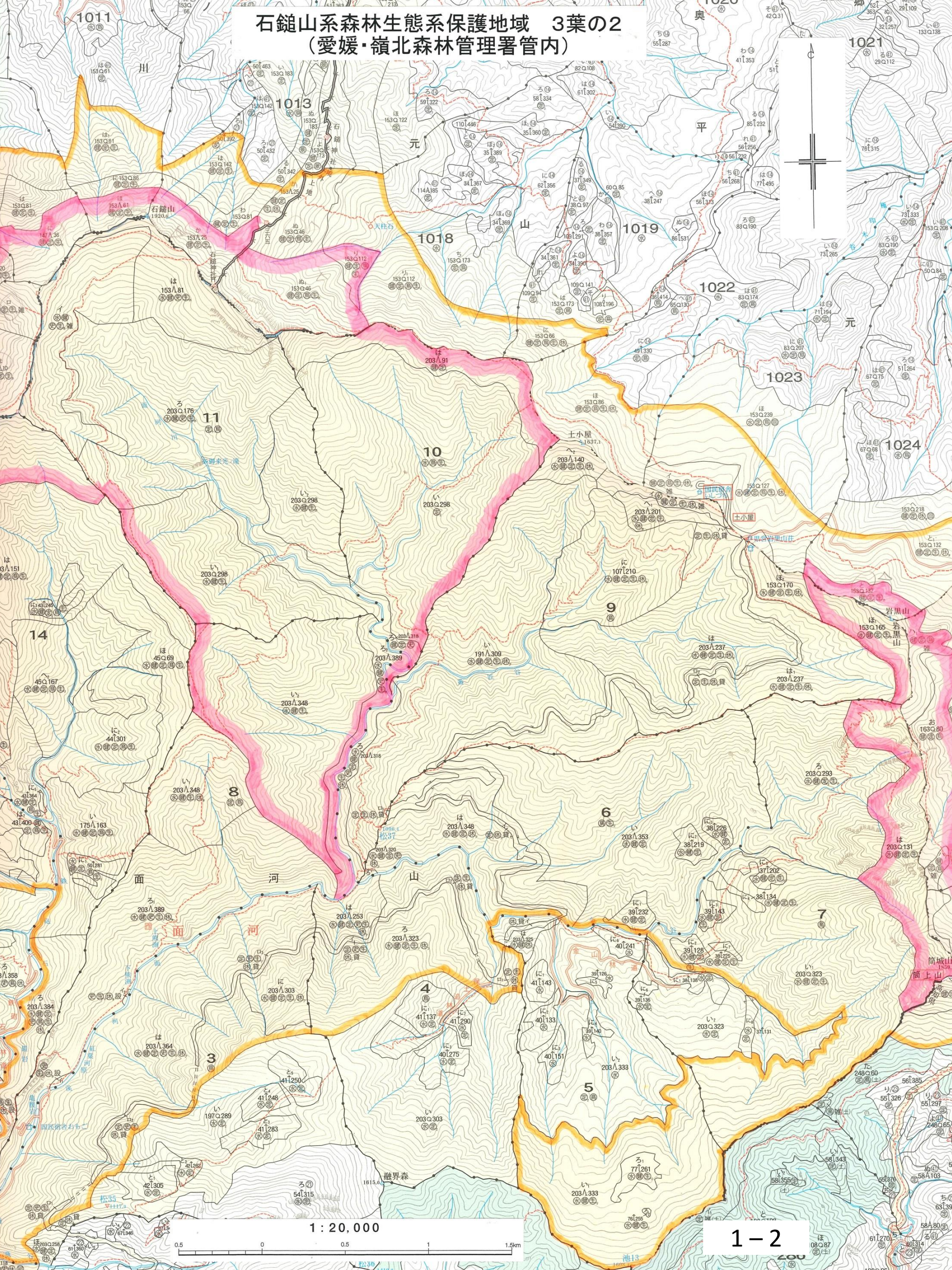
面河溪から石鎚山山頂(1,982m)まで標高差約,300mの地域。暖温帯林、冷温帯林、亜寒帯林に至る植生の垂直分布を有する。多様性に富んだ南方系及び北方系の動植物が生息・生育する。

凡 例	
	保存地区
	保全利用地区

1 : 20,000

1 - 1

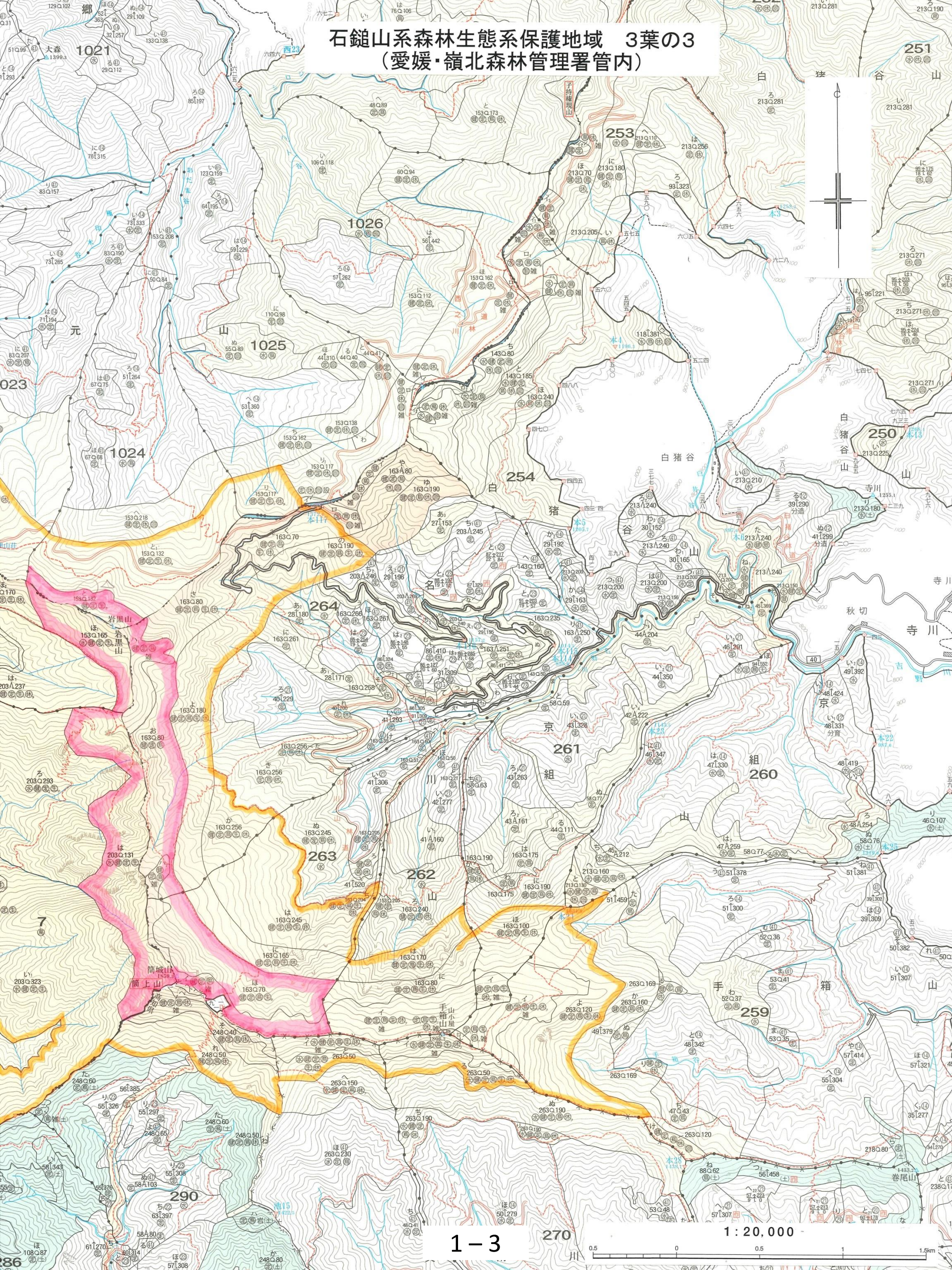
石鎚山系森林生態系保護地域 3葉の2
(愛媛・嶺北森林管理署管内)



1 : 20,000

1-2

石鎚山系森林生態系保護地域 3葉の3
(愛媛・嶺北森林管理署管内)



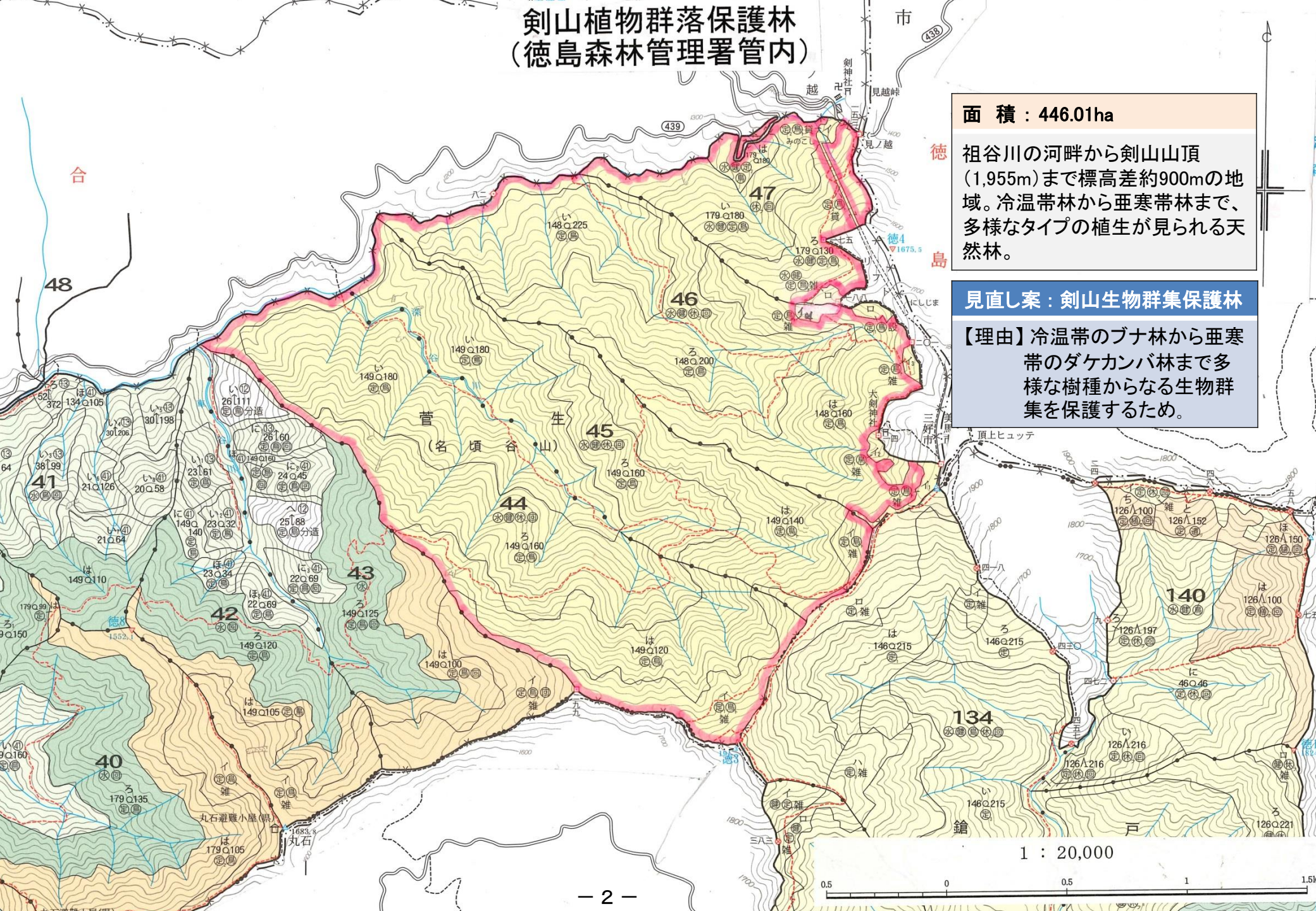
剣山植物群落保護林 (徳島森林管理署管内)

面積：446.01ha

祖谷川の河畔から剣山山頂
(1,955m)まで標高差約900mの地
域。冷温帯林から亜寒帯林まで、
多様なタイプの植生が見られる天
然林。

見直し案：剣山生物群集保護林

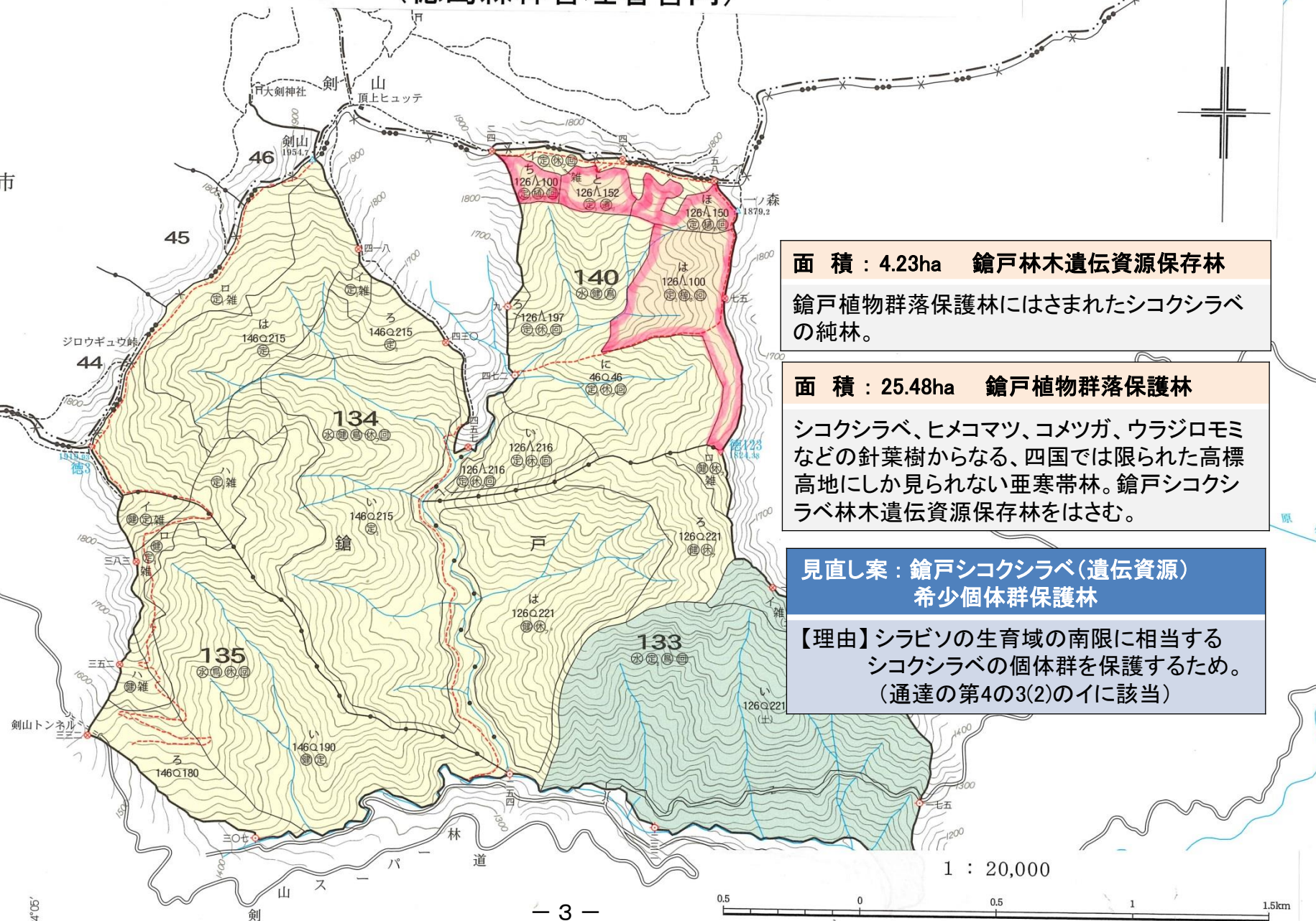
【理由】冷温帯のブナ林から亜寒
帯のダケカンバ林まで多
様な樹種からなる生物群
集を保護するため。



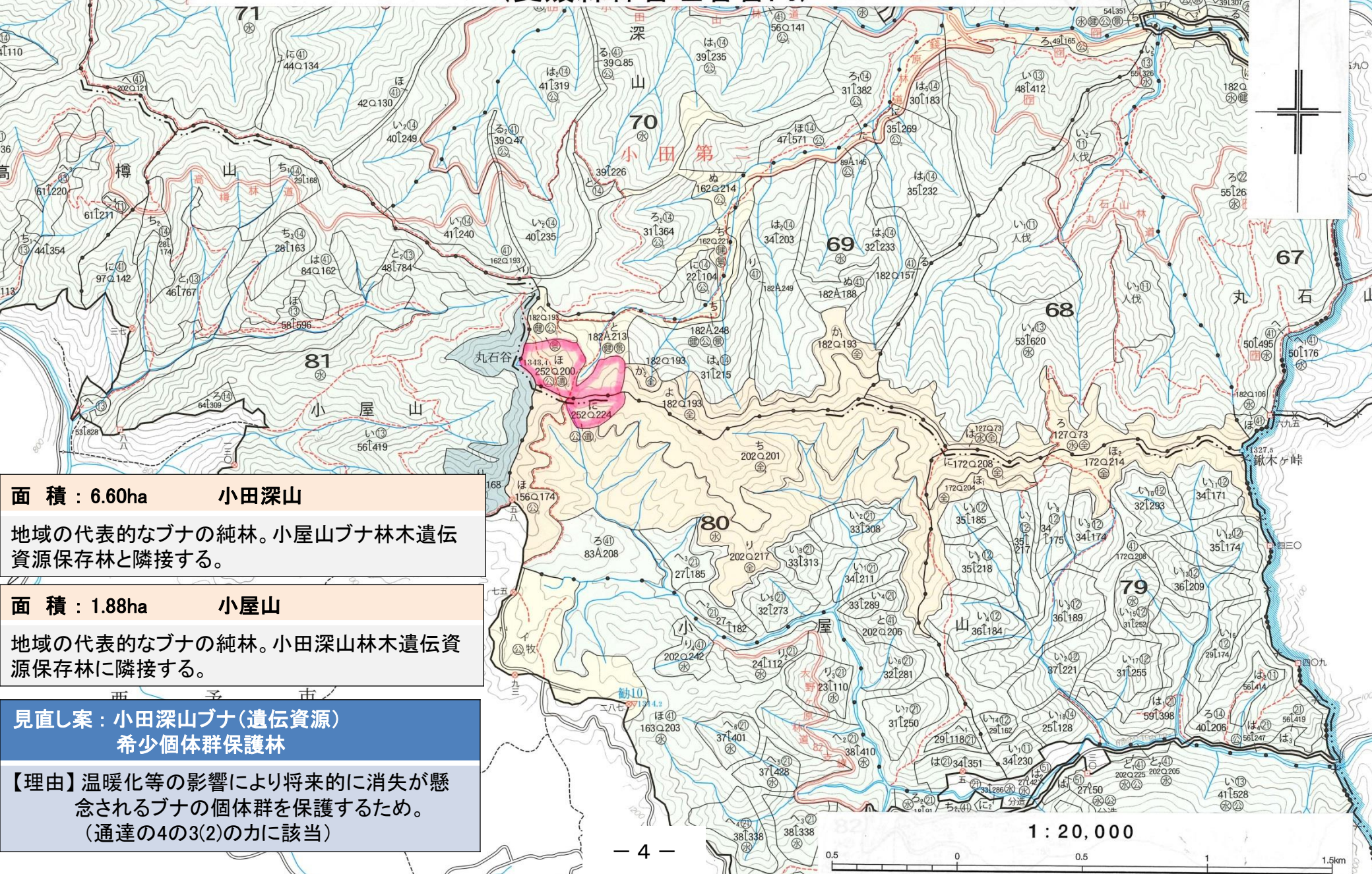
1 : 20,000

鎗戸植物群落保護林・鎗戸シコクシラベ林木遺伝資源保存林 (徳島森林管理署管内)

小 川
好 市



小田深山ブナ林木遺伝資源保存林・小屋山ブナ林木遺伝資源保存林 (愛媛森林管理署管内)



面積：6.60ha 小田深山

地域の代表的なブナの純林。小屋山ブナ林木遺伝資源保存林と隣接する。

面積：1.88ha 小屋山

地域の代表的なブナの純林。小田深山林木遺伝資源保存林に隣接する。

**見直し案：小田深山ブナ(遺伝資源)
希少個体群保護林**

**【理由】温暖化等の影響により将来的に消失が懸念されるブナの個体群を保護するため。
(通達の4の3(2)の力に該当)**

滑床山ウラジログシ等林木遺伝資源保存林 (愛媛森林管理署管内)

面積：36.62ha

樹齢約200年のウラジログシ、アカガシ、カエデ
類を主体とする暖温帯林。

見直し案：検討中

1:20,000

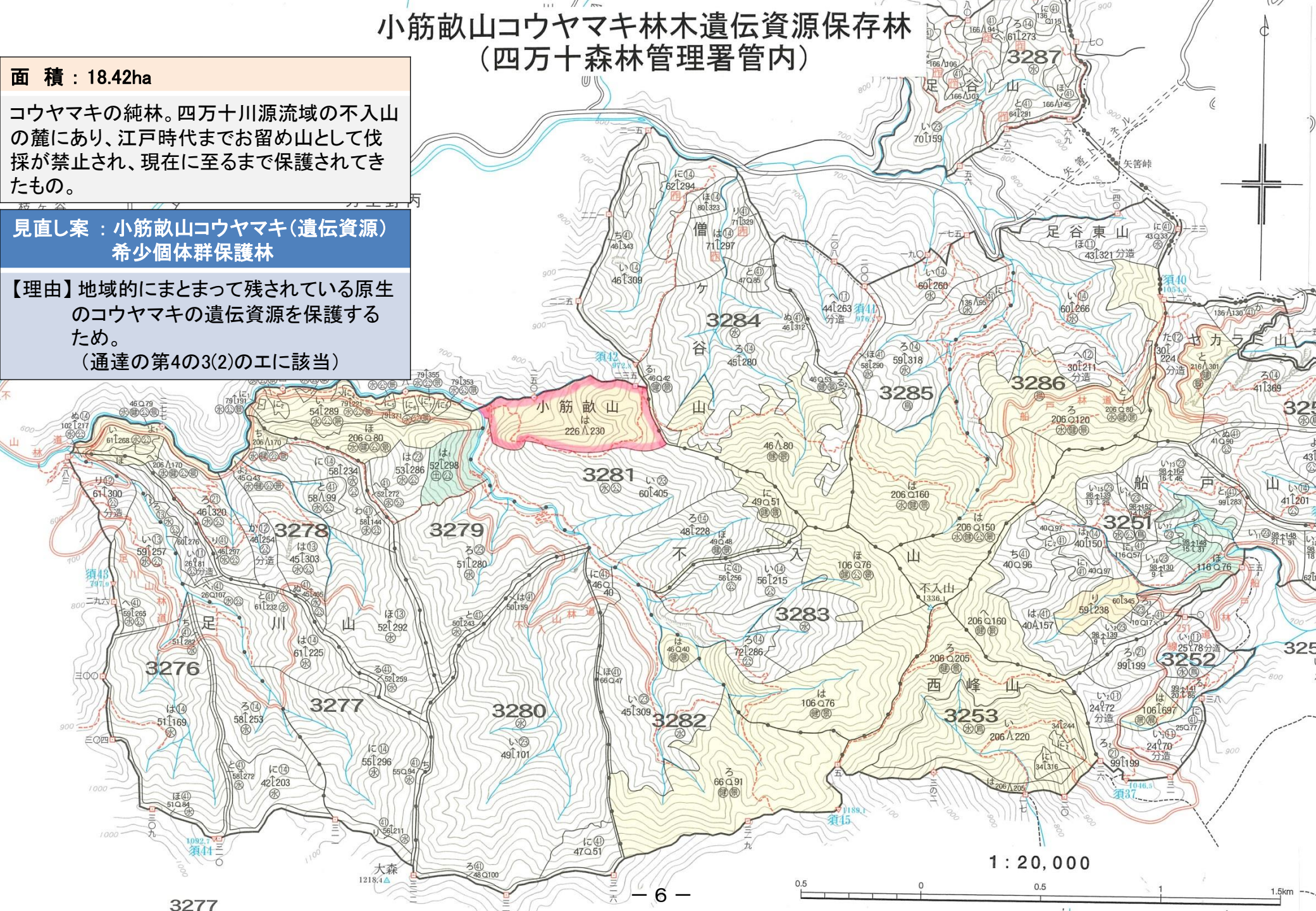
小筋畝山コウヤマキ林木遺伝資源保存林 (四万十森林管理署管内)

面積：18.42ha

コウヤマキの純林。四万十川源流域の不入山の麓にあり、江戸時代までお留め山として伐採が禁止され、現在に至るまで保護されてきたもの。

見直し案：小筋畝山コウヤマキ(遺伝資源)
希少個体群保護林

【理由】地域的にまとまって残されている原生のコウヤマキの遺伝資源を保護するため。
(通達の第4の3(2)のエに該当)



梶ヶ谷山モミ林木遺伝資源保存林・古屋山アカマツ林木遺伝資源保存林 (四万十森林管理署管内)

面積：8.88ha

古屋山（ち小班）

大道マツとして知られる優良なアカマツの天然林。梶ヶ谷山モミ林木遺伝資源保存林と尾根をはさんで隣接する。

見直し案：古屋山大道マツ(遺伝資源)
希少個体群保護林

【理由】特徴的な^{おとうどう}大道マツの遺伝資源を保護するため。（大道マツの特徴：枝下高が高く、樹幹、木理とも通直）
(通達の第4の3(2)のエに該当)

面積：8.51ha

梶ヶ谷山（に小班）

モミの巨木が林立する天然林。古屋山アカマツ林木遺伝資源保存林と尾根をはさんで隣接する。

見直し案：梶ヶ谷山モミ(遺伝資源)
希少個体群保護林

【理由】地域的にまとまって残されている原生のモミの遺伝資源を保護するため。
(通達の第4の3(2)のエに該当)

1 : 20,000

0.5 0 0.5 1 1.5km



佐田山シイ林木遺伝資源保存林 (四万十森林管理署管内)

四万十川広域流域
四万十川森林計画区

面積：10.98ha

樹齢150年を超えるシイ(スダジイ)やアカガシの大木が林立する天然林。シイの根に寄生するヤッコソウが自生する。

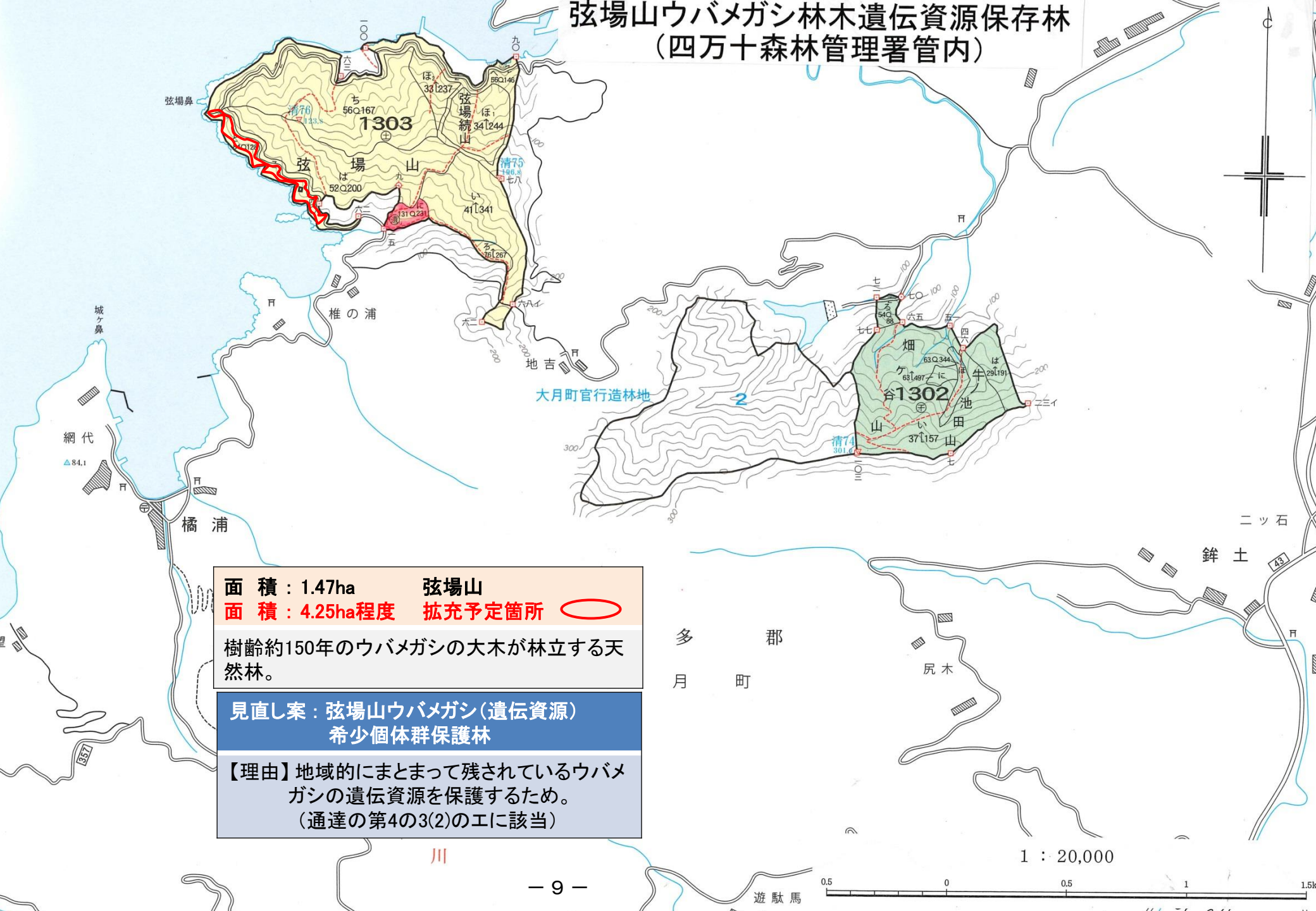
見直し案：佐田山ヤッコソウ(シイ遺伝資源)
希少個体群保護林

【理由】もともとはシイの遺伝資源を保存するための保護林だが、林床に生育する希少種ヤッコソウの個体群を保護するための保護林と位置付ける。
(通達の第4の3(2)のアに該当)

足摺宇和海国立公園

1:20,000

弦場山ウバメガシ林木遺伝資源保存林 (四万十森林管理署管内)

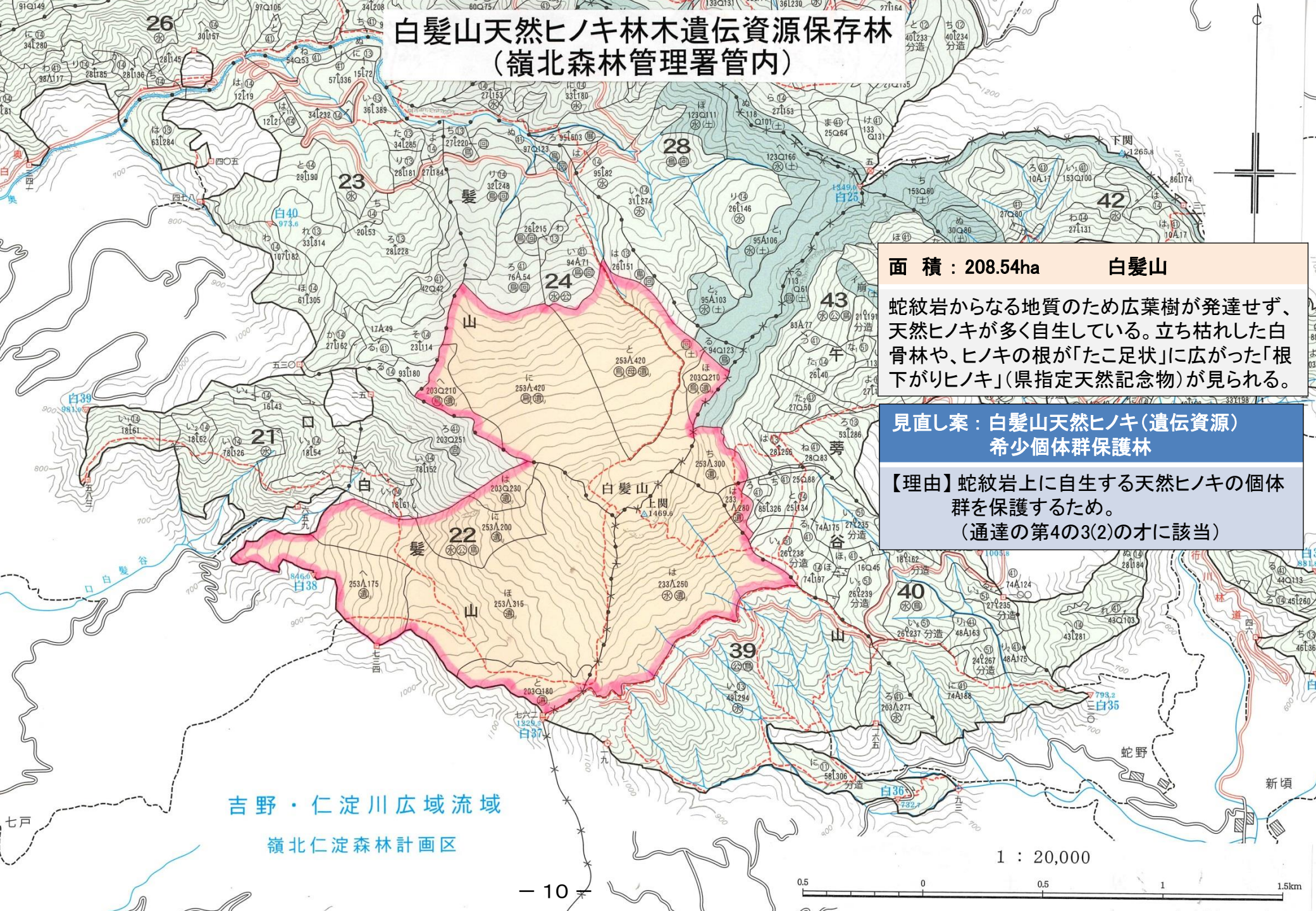


面積：1.47ha	弦場山
面積：4.25ha程度	拡充予定箇所
樹齢約150年のウバメガシの大木が林立する天然林。	
見直し案：弦場山ウバメガシ(遺伝資源) 希少個体群保護林	
【理由】地域的にまとまって残されているウバメガシの遺伝資源を保護するため。 (通達の第4の3(2)のエに該当)	

1 : 20,000



白髪山天然ヒノキ林木遺伝資源保存林 (嶺北森林管理署管内)



面積：208.54ha 白髪山

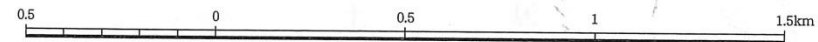
蛇紋岩からなる地質のため広葉樹が発達せず、天然ヒノキが多く自生している。立ち枯れした白骨林や、ヒノキの根が「たこ足状」に広がった「根下がリヒノキ」(県指定天然記念物)が見られる。

見直し案：白髪山天然ヒノキ(遺伝資源)
希少個体群保護林

【理由】蛇紋岩上に自生する天然ヒノキの個体群を保護するため。
(通達の第4の3(2)のオに該当)

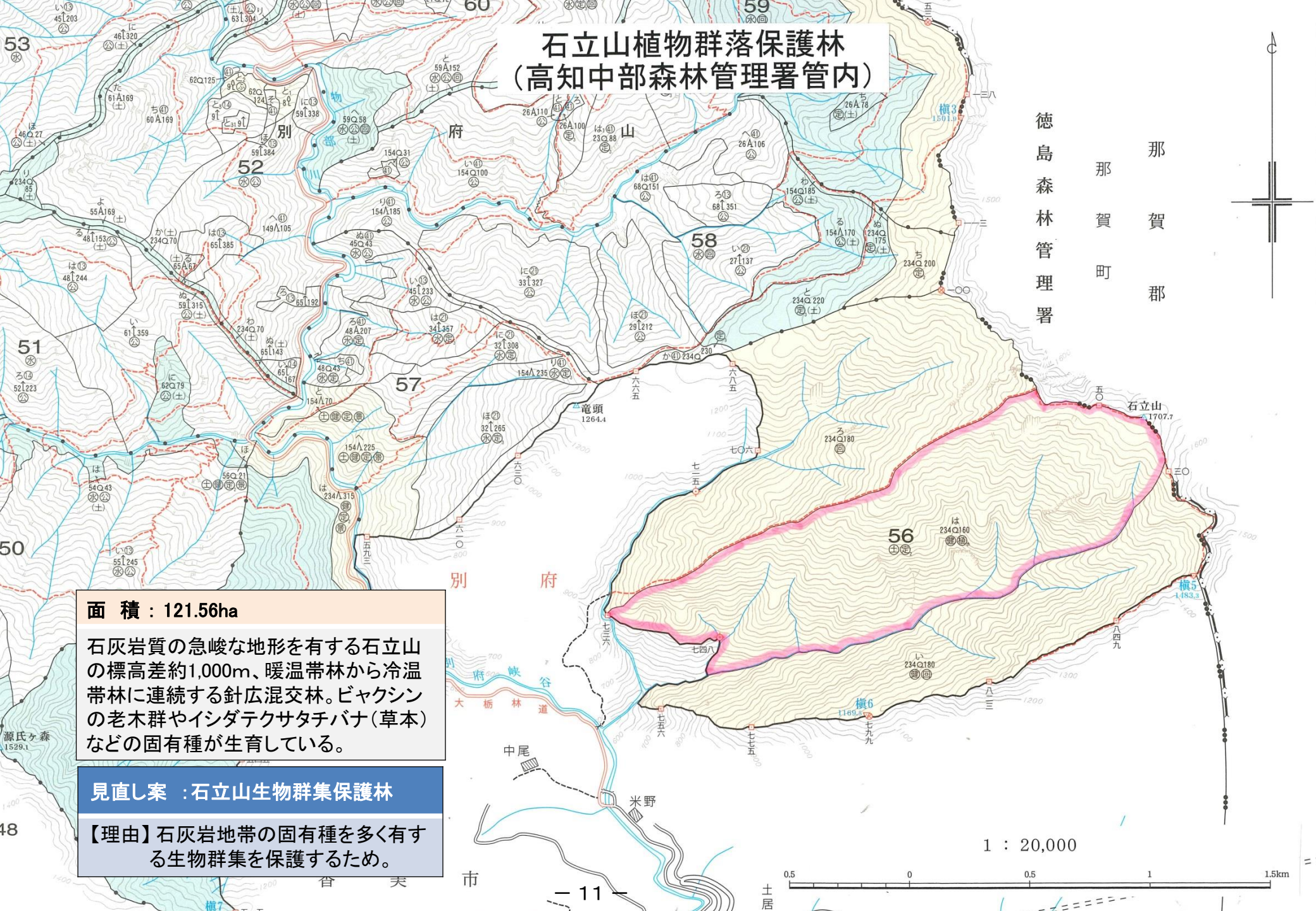
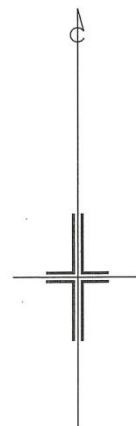
吉野・仁淀川広域流域
嶺北仁淀森林計画区

1 : 20,000



石立山植物群落保護林 (高知中部森林管理署管内)

徳島森林管理署
那賀郡
那賀町



面積：121.56ha

石灰岩質の急峻な地形を有する石立山の標高差約1,000m、暖温帯林から冷温帯林に連続する針広混交林。ビャクシンの老木群やイシダテクサタチバナ(草本)などの固有種が生育している。

見直し案：石立山生物群集保護林

【理由】石灰岩地帯の固有種を多く有する生物群集を保護するため。

1 : 20,000

0.5 0 0.5 1 1.5km

西熊山植物群落保護林 (高知中部森林管理署管内)

林 管 理 署

子 市

川 広 域

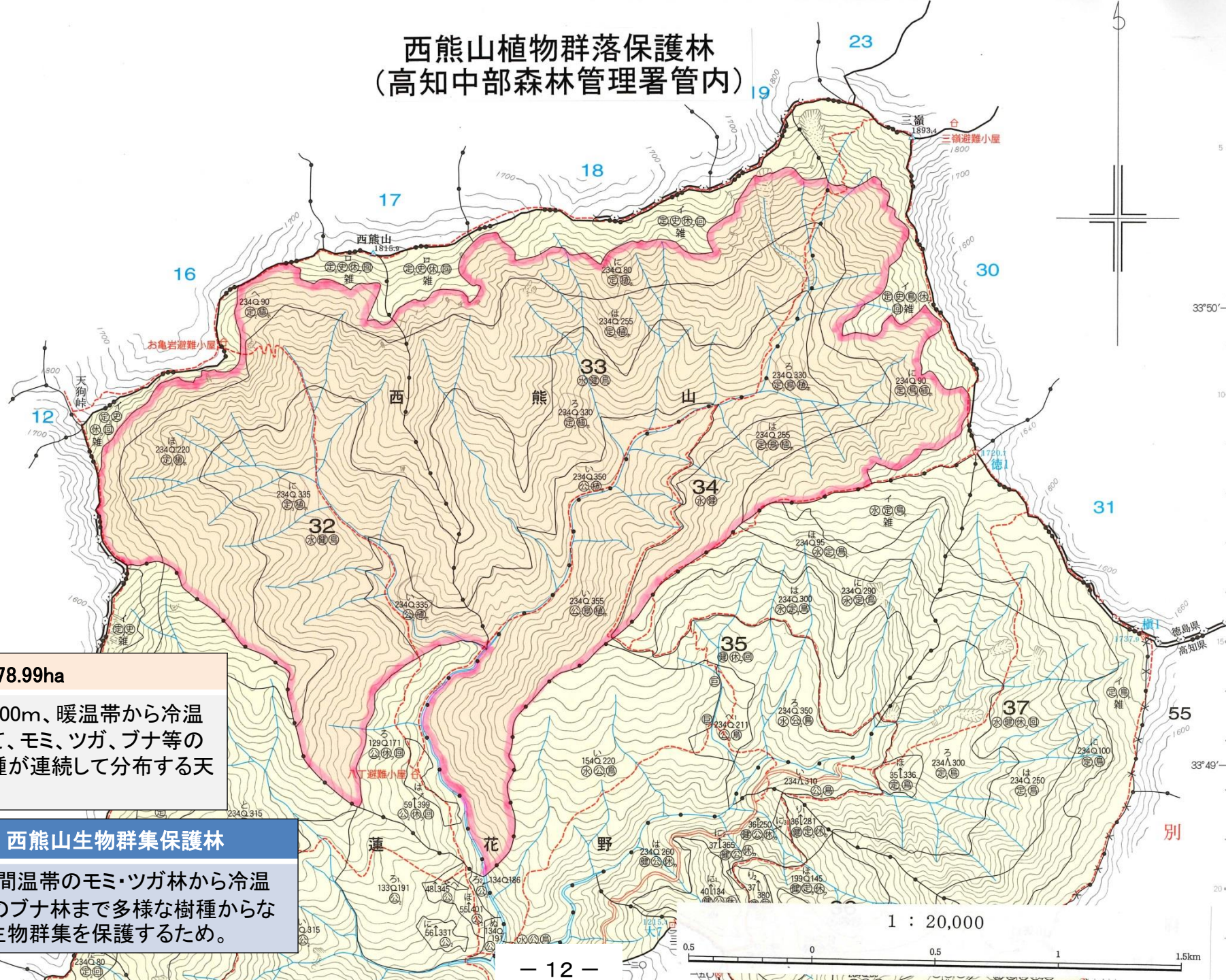
林 計 画

面 積 : 478.99ha

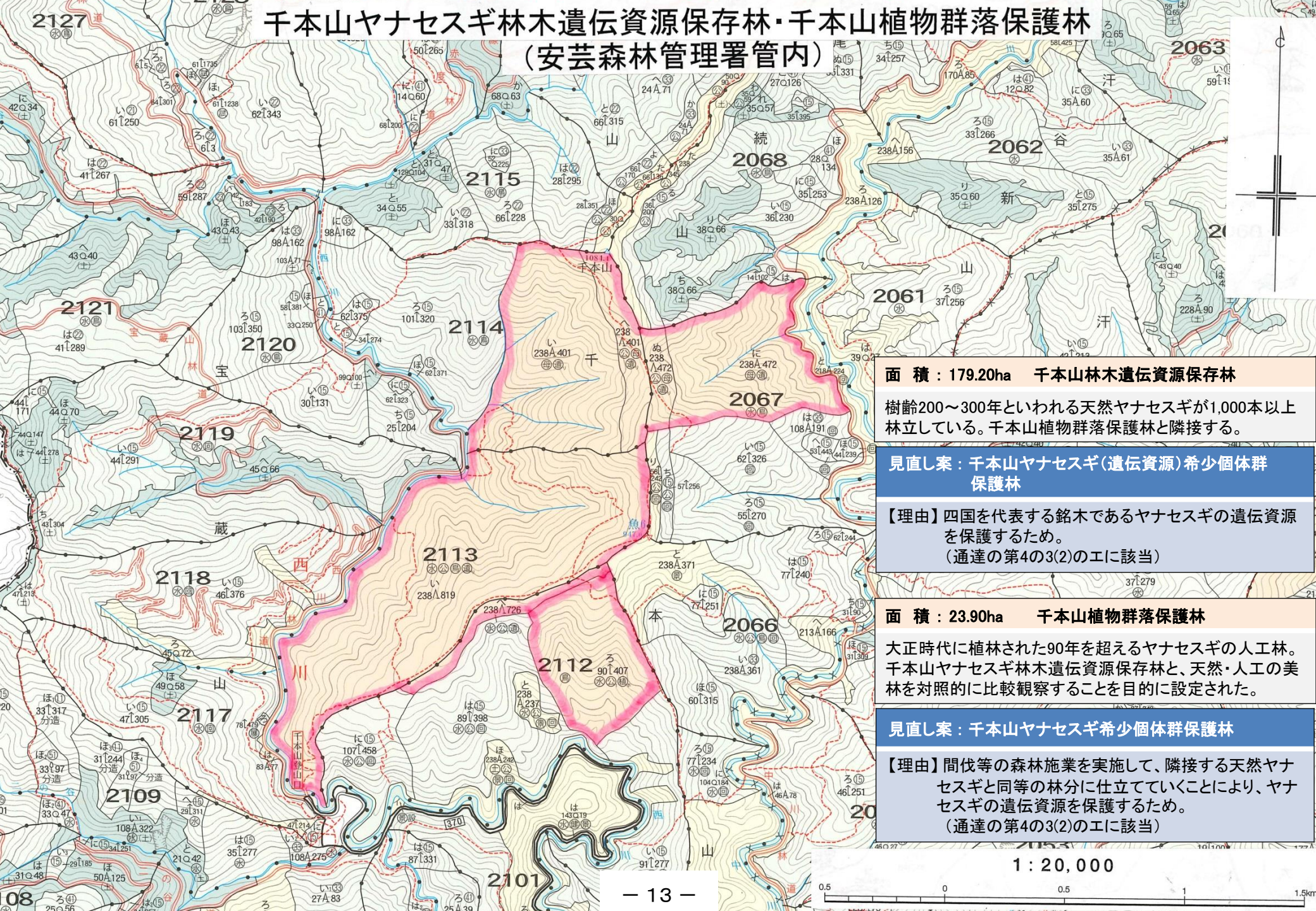
標高差約700m、暖温帯から冷温帯にかけて、モミ、ツガ、ブナ等の多様な樹種が連続して分布する天然林。

見直し案 : 西熊山生物群集保護林

【理由】中間温帯のモミ・ツガ林から冷温帯のブナ林まで多様な樹種からなる生物群集を保護するため。



千本山ヤナセスギ林木遺伝資源保存林・千本山植物群落保護林 (安芸森林管理署管内)



面積：179.20ha 千本山林木遺伝資源保存林

樹齢200～300年といわれる天然ヤナセスギが1,000本以上林立している。千本山植物群落保護林と隣接する。

見直し案：千本山ヤナセスギ(遺伝資源)希少個体群保護林

【理由】四国を代表する銘木であるヤナセスギの遺伝資源を保護するため。
(通達の第4の3(2)のエに該当)

面積：23.90ha 千本山植物群落保護林

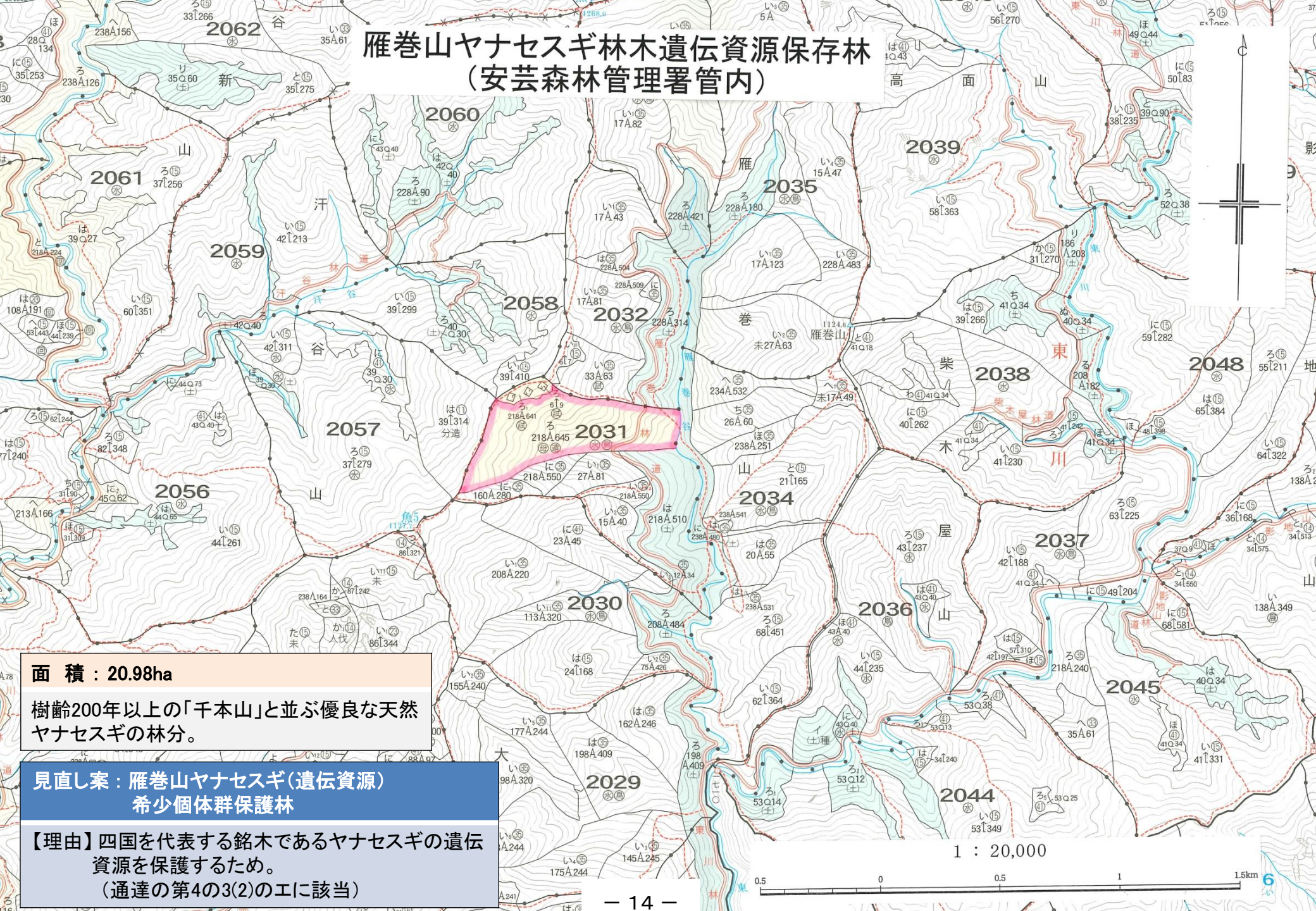
大正時代に植林された90年を超えるヤナセスギの人工林。千本山ヤナセスギ林木遺伝資源保存林と、天然・人工の美林を対照的に比較観察することを目的に設定された。

見直し案：千本山ヤナセスギ希少個体群保護林

【理由】間伐等の森林施業を実施して、隣接する天然ヤナセスギと同等の林分に仕立てていくことにより、ヤナセスギの遺伝資源を保護するため。
(通達の第4の3(2)のエに該当)

1 : 20,000

雁巻山ヤナセスギ林木遺伝資源保存林 (安芸森林管理署管内)



面積：20.98ha

樹齢200年以上の「千本山」と並ぶ優良な天然
ヤナセスギの林分。

見直し案：雁巻山ヤナセスギ(遺伝資源)
希少個体群保護林

【理由】四国を代表する銘木であるヤナセスギの遺伝
資源を保護するため。
(通達の第4の3(2)のエに該当)

1 : 20,000

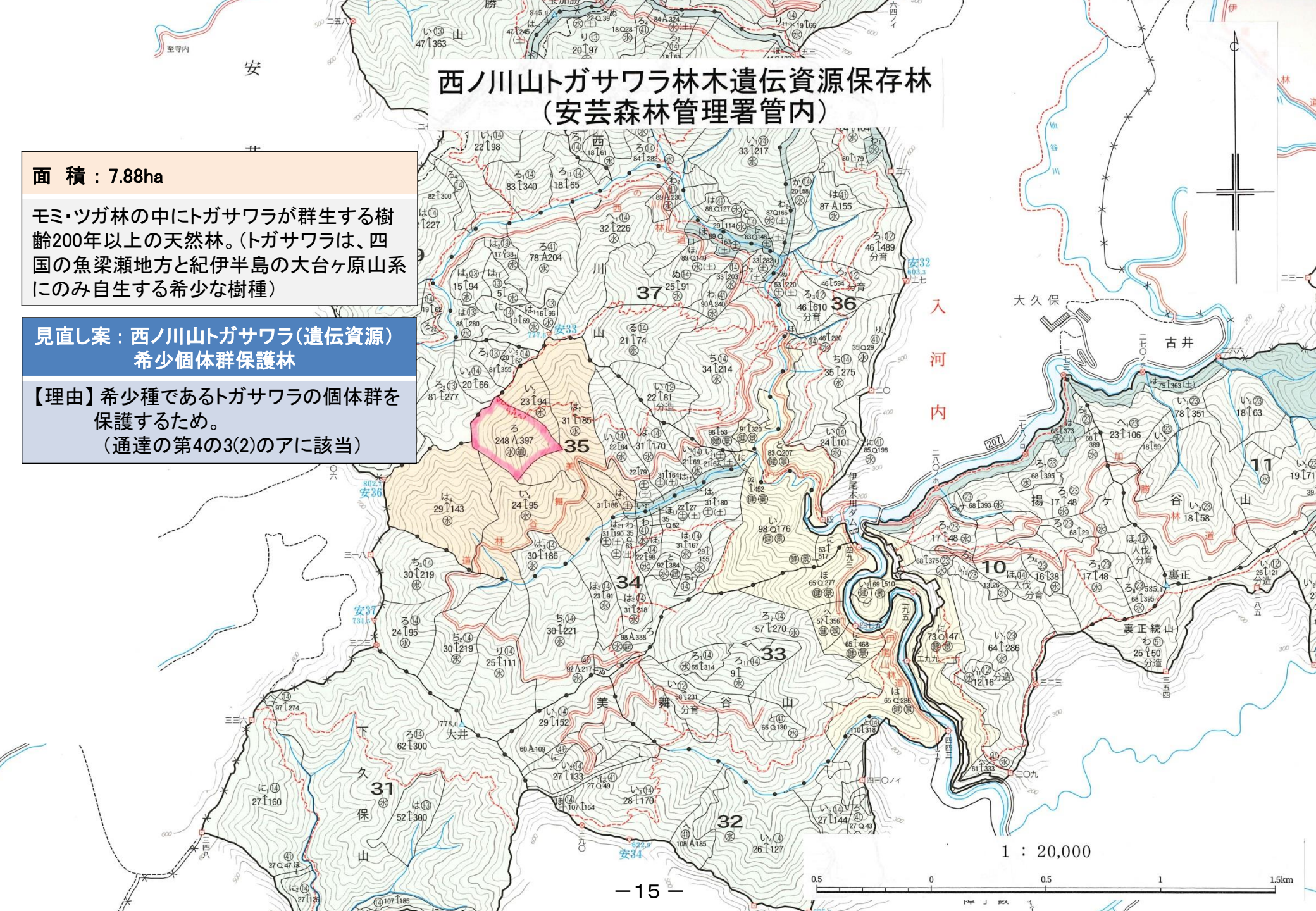
西ノ川山トガサワラ林木遺伝資源保存林 (安芸森林管理署管内)

面積：7.88ha

モミ・ツガ林の中にトガサワラが群生する樹齢200年以上の天然林。(トガサワラは、四国の魚梁瀬地方と紀伊半島の大台ヶ原山系にのみ自生する希少な樹種)

見直し案：西ノ川山トガサワラ(遺伝資源)
希少個体群保護林

【理由】希少種であるトガサワラの個体群を保護するため。
(通達の第4の3(2)のアに該当)



魚梁瀬トガサワラ林木遺伝資源保存林 (安芸森林管理署管内)



面積：16.02ha

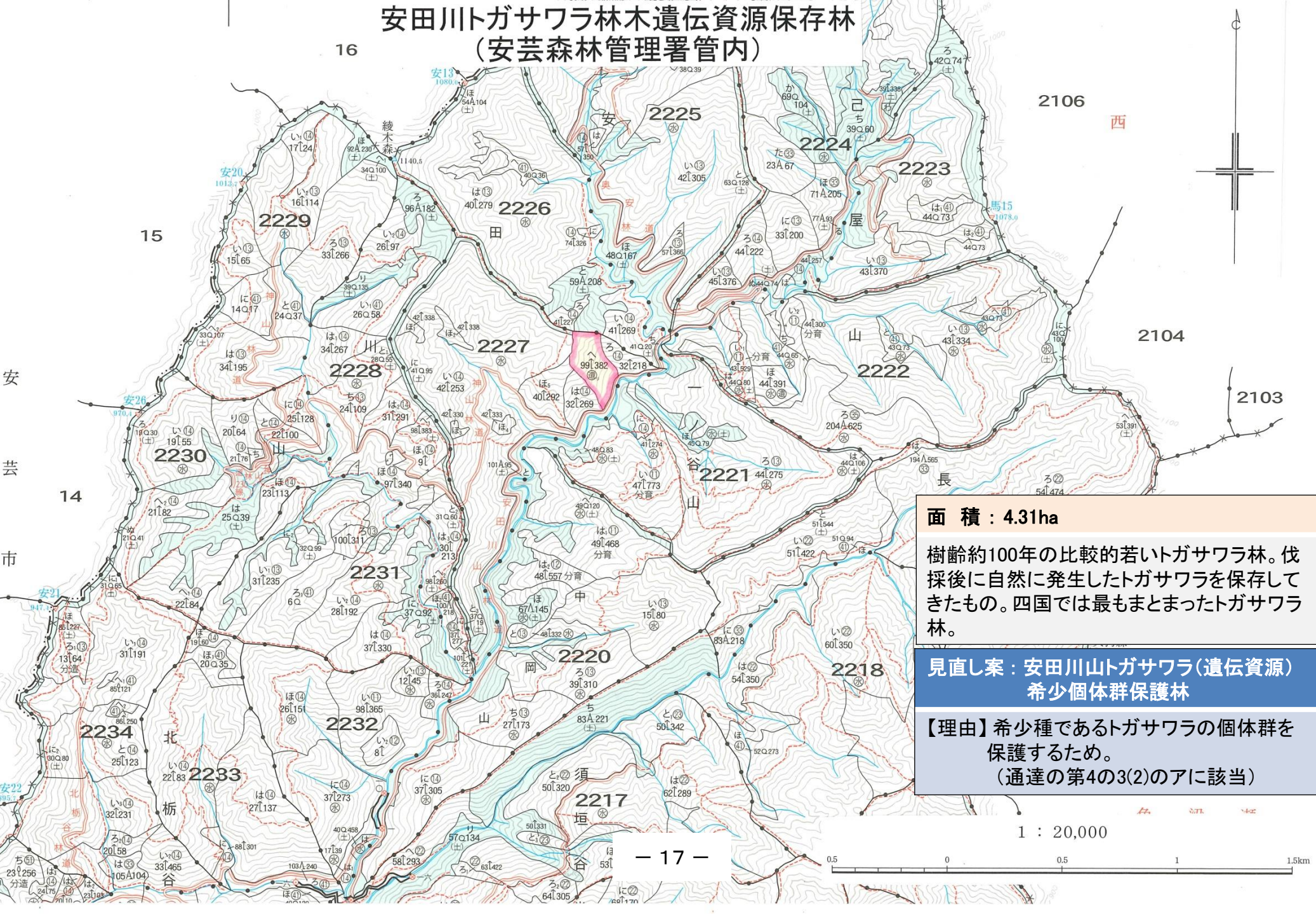
トガサワラが群生する樹齢200年以上の天然林。
トガサワラ以外にも、ヤナセスギ、ヒノキ、モミ、
ツガ、コウヤマキの、いわゆる「魚梁瀬の六木」
が揃っている。

見直し案：魚梁瀬トガサワラ(遺伝資源)
希少個体群保護林

【理由】希少種であるトガサワラの個体群を保護するため。
(通達の第4の3(2)のアに該当)

1 : 20,000

安田川トガサワラ林木遺伝資源保存林 (安芸森林管理署管内)



横荒山モミ・ツガ林木遺伝資源保存林 (安芸森林管理署管内)

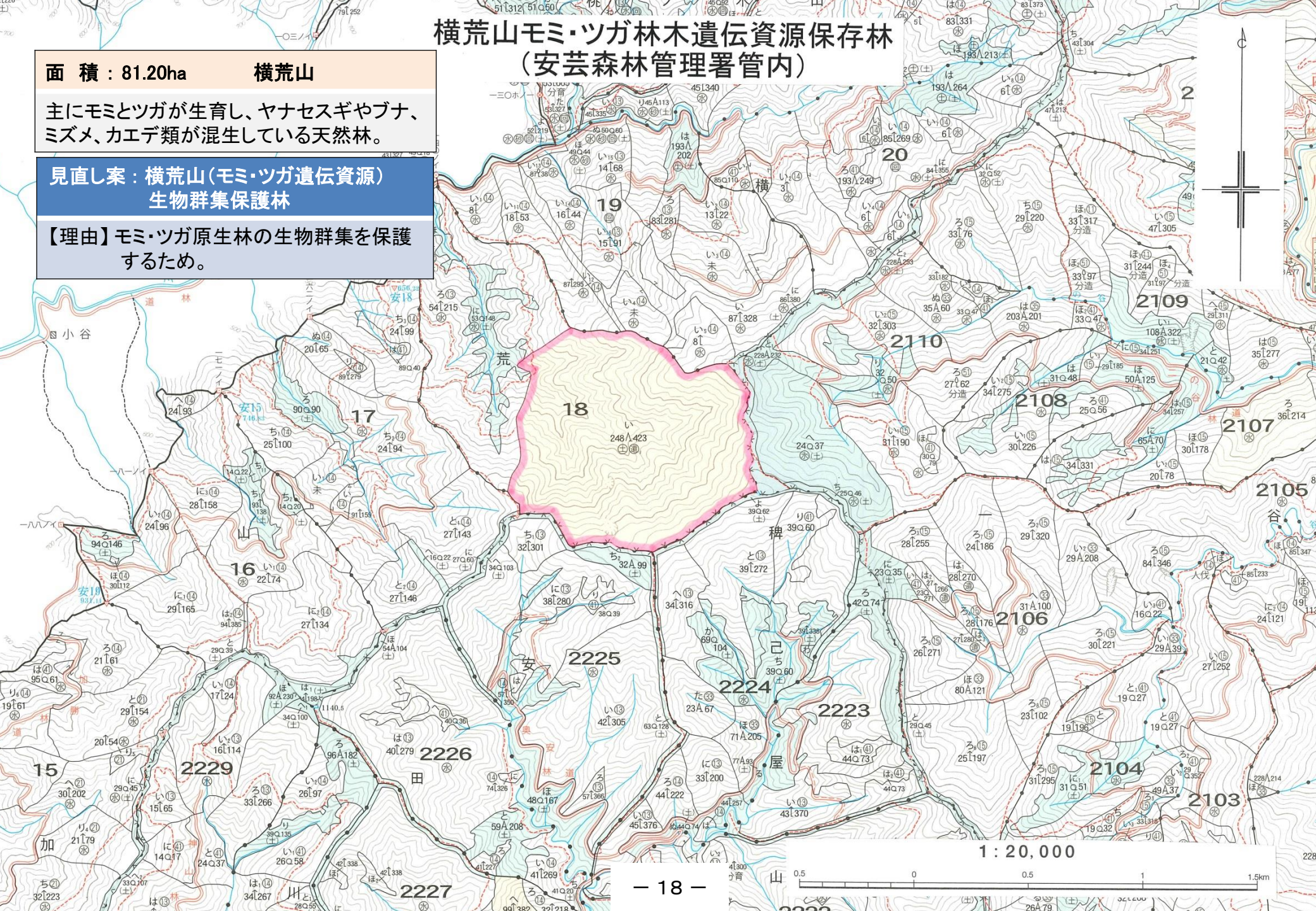
面積：81.20ha

横荒山

主にモミとツガが生育し、ヤナセスギやブナ、ミズメ、カエデ類が混生している天然林。

見直し案：横荒山(モミ・ツガ遺伝資源)
生物群集保護林

【理由】モミ・ツガ原生林の生物群集を保護
するため。



四国地域 保護林位置図 凡例

	広域流域界	⑪	スギ分散伐区		保安施設地区		林	林木遺伝資源保存林	道		軽自動車道
	森林計画区界	⑫	ヒノキ分散伐区		砂防指定地		植物群落保護林	水路用地	歩道		歩道
	森林管理署界等	⑬	スギ長伐期		特別保護地区		郷土の森	電気事業用地	国道		国道
	担当区界	⑭	ヒノキ長伐期		第1種特別地域		自然観察教育ゾーン	温鉱泉用地	自動車道		自動車道
	林班界	⑮	ヤナセスギ長伐期		第2種特別地域		森林スポーツゾーン	学校用地	車道		車道
	小班界	⑯	複層林		第3種特別地域		野外スポーツゾーン	採草放牧地	歩道		歩道
	同一小班的表示記号	⑰	スギ長伐期複層林		普通地域		風景ゾーン	建物用地			
	山地災害防止タイプ 土砂流出崩壊防備	⑱	ヒノキ長伐期複層林		地帯区分未定地区		風致探勝ゾーン	その他貸地			
	山地災害防止タイプ 気象害防備	⑲	その他複層林		特別保護地区		自然観察教育林	官地民木地			
	水士保全林 水源かん養タイプ	⑳	ヤナセスギ分散伐区		第1種特別地域		森林スポーツ林	廃棄見込地			
	森林と人との共生林 自然維持タイプ	㉑	ヤナセスギ択伐		第2種特別地域		野外スポーツ地域	所管換見込地			
	森林と人との共生林 森林空間利用タイプ	㉒	天然ヤナセスギ長伐期複層林		第3種特別地域		風景林	耕地ひ陰地			
	資源の循環利用林	㉓	択伐		普通地域		風致探勝林	岩石地			
	⑪ スギ一般材	㉔	人工林		地帯区分未定地区		その他レクリエーションの森	崩壊地			
	⑫ ヒノキ一般材	㉕	単層林		第1種特別地域		ふれあいの森	笹生地			
	⑬ スギ大径材	㉖	人工林		第2種特別地域		木の文化を支える森	荒廃地			
	⑭ ヒノキ大径材	㉗	複層林		第3種特別地域		遊々の森	湿地			
	⑮ ヤナセスギ大径材	㉘	天然林		普通地域		巨樹・巨木	草生地			
	⑯ ヒノキ中径材	㉙	天然林		地帯区分未定地区		精英樹保護林	その他雑地			
	⑰ スギ・ヒノキ複層林	㉚	天然林		史跡名勝天然記念物		遺伝子保存林	林道			
	⑱ スギ大径材複層林	㉛	天然林		鳥獣保護区特別保護地区		試験地	作業道			
	⑲ ヒノキ大径材複層林	㉜	天然林		鳥獣保護区普通地区		展示林	森林作業道			
	⑳ ヤナセスギ大径材複層林	㉝	天然林		自然環境保全地域		森林施業モデル林				
	㉑ 天然一般材皆伐	㉞	天然林		自然環境保全地域		緑の回廊				
	㉒ 天然大径材皆伐	㉟	天然林		自然環境保全地域		苗畑敷				
	㉓ 天然ヤナセスギ皆伐	㊱	天然林		自然環境保全地域		採穂園敷				
	㉔ 文化財等大径材択伐	㊲	天然林		自然環境保全地域		採穂園敷				
	㉕ 天然一般材皆伐	㊳	天然林		自然環境保全地域		建物敷				
	㉖ 中大径材択伐	㊴	天然林		自然環境保全地域		貯木場敷				
	㉗ 天然ヤナセスギ択伐	㊵	天然林		自然環境保全地域		防火線敷				
	㉘ シイタケ原木	㊶	天然林		自然環境保全地域		区画線敷				
		㊷	天然林		自然環境保全地域		レクリエーションの森施設敷				
		㊸	天然林		自然環境保全地域		ふれあいの郷施設敷				
		㊹	天然林		自然環境保全地域		植樹用地				
		㊺	天然林		自然環境保全地域		農耕用地				
		㊻	天然林		自然環境保全地域		鉱業用地				

※ 資源の循環利用林タイプ内の⑩等は生産群である
水士保全林水源かん養タイプ内の⑩等は施業群である